



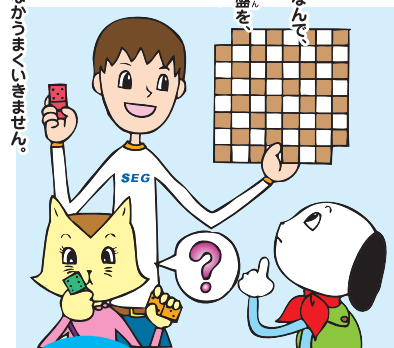
リョッピー世界をめぐる!



第10話 チュニスの街なみ

編集/青木 亮二 ■イラスト/野中 理恵

「おにいさんがいます。」
「そんなチュニジアの雰囲気になんて、こんな問題はとうとう。」
「端が2か所欠けた、こんなチェス盤をドミノ牌31枚で覆ってこらん。」
「うまくできたら、ドーナツをちやうそしてあげる。」
「こんな簡単なだよ!」
「ほら、こつやつ……」
「あれっ、うまくいかないや!」
「リョッピーとフータンは、いろいろなやつてみますが、なかなかうまくいきません。」



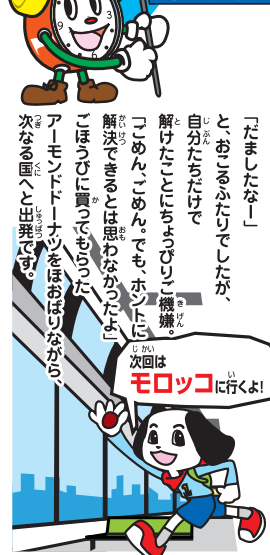
「ひとつの都市が、ふたつの色を持っているね!」
「観光を終えて、フータンがいます。」
「実は、チュニスだけがふたつの色を持っているわけじゃないんだ。ここから少し東に行ったシディブサイドは、白と青で統一された海岸沿いの街だし、中部にある第2の都市スファックスは、商業の街。日本ではいうと大阪のような感じかな。有名なサハラ砂漠の入り口があるし、なんというか、国全体がさまざまな色を持っている。それがチュニジアなんだ。チェスを好む人が多いのも、そんなお国柄だからかな。」
「道端でチェスをしているおじさんたちを見ながら、おにいさんがいます。」
「チュニス盤って、たしかに白黒交互になっているぞ!」
「ホントかどうかはわかりませんが、リョッピーは妙に納得してしまいました。」



チュニスにやってきたリョッピーたち。アフリカの入り口のエジプトとはちがいで、ここからヨーロッパ風で近代的な街なみにリョッピーとフータンはひびく。
「ここ、チュニスの新市街はフランスの保護領だった19世紀の後半に建設されたんだよ。」
「メディナ(旧市街)と見くらべてみると、ふたつのまったくちがった街なみが、いっしょにあるのがよくわかるんだ!」
「おにいさんがいます。」
「へえ、前に行ったマカオと同じような感じなんだね!」
「とリョッピー。」というとき、3人は新市街と旧市街を散策することになりました。



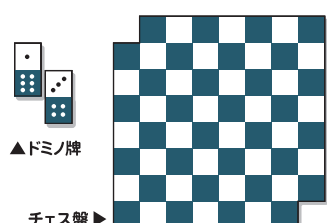
ここで問題!
★☆☆☆☆
問題の難易度



欠けたチェス盤は覆えるのかな

- わかってること
- 1 チェス盤は8マス×8マスで、左上と右下が1マスずつ欠けている。
 - 2 ドミノ牌の大きさは1マス×2マスで、全部で31枚。

考え方のポイントは「白黒のめりわけを利用すること」だね!



- うーん、何度やってもうまくいかない……
- もしかしてどうやっても覆えないとか……?
- どきつ。
- ちょっとまって! ドミノ牌はどこにおいても白マスと黒マス、1個ずつを覆う。
- 白マスは全部で32マス、黒マスは全部で30マス。
- じゃあ、31枚のドミノ牌じゃ絶対に白マスを覆いきれないから、覆うのは不可能 じゃん!
- ばれたか……

おにいさんの早わかり チュニジアの豆知識

北部は地中海に面しており、南部はサハラ砂漠の入口という“海”と“砂漠”が混在した国。日本の5分の2くらい大きさで、とても美しい自然と数多くの道跡に恵まれた小国なんだ。ローマ道跡がたくさんあり、多くの道跡が世界遺産に指定されているよ。

■人 口:1017万人 ■面積 16万 km²
■言語 アラビア語

中学入試問題にアタック!

左下図のように、与えられたマス目を1つおいてなめに進む移動を考えます。□の部分から1回の移動で進める場所は、左下図で示されたように8ヶ所です。例えば、[図]でSからGに向かうには、[Aさん]のように6回の移動で進んだり[Bさん]のように4回の移動で進んだりすることが出来ます。では、ちょうど5回の移動でSからGに向かうことはできるでしょうか?

(2000年 目黒聖美 一部改)

【Aさん】 【Bさん】

【図】

マス目を右のように白黒にめりわけると、白のマスからは黒のマスにしか、黒のマスからは白のマスにしか移動できないことがわかるので、5回の移動でSからGに向かうことは不可能である。

【答】できない